

# 平成24年度 決算

## 議会からの要望事項

平成24年度決算を認定するに当たり、市長に対して10件の要望を行いました。

### 1 災害対策について

気象に関する注意報又は警報が発令された場合は、最大級の被害を想定し、応急活動が円滑、迅速に行えるよう速やかに災害対策の体制を取ること。

また、災害時における連絡先の市民への周知徹底、災害復旧に対応する人員配置及び業者等への連絡体制を整えること。

### 2 離島の集落機能強化事業（支援員派遣）について

現在、北木島と真鍋島に支援員が派遣されているが、同様に高齢化が進んでいる他島への支援員も重要と考えたため、更なる離島の集落機能強化事業を拡充すること。

### 3 学校給食における食物アレルギー対応について

学校給食では、子どもの心身の健全な育成に資することが目的である。しかし、現在の給食センターでは、アレルギー食への対応は、卵系のみとなつていて、このことから、家庭の負担を和らげるため、並びに児童生徒の心

情を察し、更に他のアレルギーに対応する給食を提供すること。  
また新給食センターの設計においては、設備及び人員配置等考慮の上で多種アレルギーに対応する給食を提供できるようにすること。

### 4 国・県の支出金を財源とした事業について

事業の中には、1年～3年程度の年限をつけて、国や県の支出金に支えられて実施しているものがある。こうした事業については、財源がなくなつた場合でも、受益者に不利益が及ばないよう、開始の段階から将来に渡る事業の継続・廃止、財源の捻出を考えて、計画的に実施すること。

### 5 緊急通報体制等整備事業について

高齢者世帯や障がい者世帯を対象にした、緊急時に消防署へ連絡できるシステムについて、現在のシステムの周知はもちろんのこと、今後高齢化社会に向けて、需要の増加が予測されるため、それに対応できるよう先進地等を参考に新しいシステムを検討すること。

### 6 生活保護の適正な支給について

平成24年度も剩余金が発生している状況で、減債積立金の必要性と適正な水道料金との関係説明を市民へ示すこと。

生活保護は、眞に困窮する市民に必要な扶助を行うものである。経済の回復が遅れ、非正規雇用も増える等、厳しい社会状況の中、受給世帯も年々増えているが、本当に支給が必要なのか、生活実態はどうか等、正しく生活状況を把握し、適正な支給に努めること。

### 7 笠岡市産業振興ビジョンの策定について

企業誘致への対策が図られているが、国の動向を踏まえ、地元企業への産業振興支援を的確に行い地域経済の活性化を進めること。

### 8 防犯カメラ設置事業について

全国的に犯罪が増加する中、危険箇所を調査し防犯カメラの設置拡大を図ること。

### 9 都市計画事業策定業務について

都市計画全般に係るが、策定業務実施に向けて、年次的に適正に行うこと。

### 10 水道事業について